

医療法人城東桐和会タムス瑞江病院における勤務医負担軽減計画

令和元6年11月現在の勤務医の勤務状況 ①医師数 常勤7名 非常勤23名 ②常勤医師平均業務時間 平均40h(週) ③常勤医師当直回数 平均月4回	●目標● 患者数並びに稼働率の増加においても 勤務医に負担が掛らない体制を構築していくことを目標とする。
--	--

分野	現状	目標
初診時の予診の実施	初診の際の診療受付時に加え、他科及び別疾患にて受診の際にも問診表の作成を実施、診察開始時に診療希望内容を明確にしている。併せて問診表が作成されている場合に看護師による追加の直接の聞き取りを若干ではあるが実施できている。	問診表の作成については従前どおり実施。看護師による与診を100%実施する。
入院の説明の実施	入院時の説明について専門知識が必要な内容については看護師が実施。また会計やその他注意点等の説明においてはその他職種にて実施。	看護師とその他職種の業務範囲を明確化し実施。
服薬指導	必要に応じ入院中の服薬指導も薬剤師が実施。時間外の外来受診については看護師が実施。	入院患者に関する服薬指導を原則薬剤師で実施。全件において持参薬鑑定を実施。
静脈採血等の実施	静脈採血の実施について、時間内外来患者については臨床検査技師にて実施、入院患者及び時間内外来患者については看護師が実施。	現状の業務分担を引き続き実施。
検査手順の説明の実施	検査内容の説明及び検査実施の同意については医師が実施。検査に係る手順や問診が必要な検査の同業務は外来看護師が実施する。	現状の業務分担を引き続き実施。
その他	医師事務作業補助者が配置されている。	病棟及び外来の状況を考慮した医師事務作業補助者配置数を配置し、診断書を始めとする書類作成、カルテの代行入力等を医師事務作業補助者が実施する。
	勤務計画、連続当直を行わない勤務体制の実施。	月間シフト作成により当直勤務に偏り(連続勤務)が起きないように調整する。
	前日の就業時間と翌日の始業時間間の一定時間の休憩時間の確保。	タイムカード(ICカード)の出退勤打刻を持って、休憩時間を確保する。
	当直翌日の業務内容に対する配慮	外来予約数・検査枠を縮小し負担軽減を図る。